



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ  
 コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 照和  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 土屋 洋介 (TEL) 03-6361-7100  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	120,906	2.6	18,520	8.6	19,702	10.0	14,593	0.6
2018年3月期	117,879	2.5	17,050	6.7	17,914	9.2	14,504	16.1

(注) 包括利益 2019年3月期 13,090百万円 (△19.6%) 2018年3月期 16,271百万円 (43.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	190.87	—	7.4	6.8	15.3
2018年3月期	200.55	—	8.3	7.0	14.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 112百万円 2018年3月期 324百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	287,322	206,141	70.2	2,639.59
2018年3月期	292,379	196,533	66.2	2,532.11

(参考) 自己資本 2019年3月期 201,816百万円 2018年3月期 193,599百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	5,450	△7,697	△18,528	56,243
2018年3月期	21,066	△23,354	50,305	78,313

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00	4,647	31.9	2.7
2019年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00	4,893	33.5	2.5
2020年3月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00		39.8	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,500	5.5	8,100	△9.5	8,700	△9.1	6,000	△15.3	78.47
通期	125,000	3.4	17,000	△8.2	18,000	△8.6	12,300	△15.7	160.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、当連結会計年度において、平安津村有限公司は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	76,758,362株	2018年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2019年3月期	300,631株	2018年3月期	300,382株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	76,457,903株	2018年3月期	72,324,992株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
(追加情報) .....	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかに伸長しました。世界経済全体では、米中貿易摩擦や不透明な欧州の政治情勢に加え、新興国の経済減速等による不確実性が高まる中においても、堅調な米国経済が支えとなり、景気の底堅さを維持しました。

一方、国内医薬品業界におきましては、昨年4月に薬価改定が実施される等、医療費抑制策の基調は変わらず、引き続き厳しい環境下で推移しました。

このような状況下、当社グループにおける当連結会計年度の売上高は、医療用漢方製剤の販売が引き続き伸長したこと等により、前連結会計年度に比べ2.6%増の120,906百万円となりました。

利益につきましては、営業利益18,520百万円(前連結会計年度比8.6%増)、経常利益19,702百万円(同10.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益14,593百万円(同0.6%増)となりました。売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬関連コストの低減等で吸収し、前連結会計年度に比べ1.2ポイント低下しました。一方、販管費率は0.3ポイント上昇し、これらの結果として、営業利益率は前連結会計年度に比べ0.8ポイント上昇し15.3%となりました。

[ 連結業績 ]

(単位：百万円)

	前期 (2018年3月期)	当期 (2019年3月期)	対前期増減額 (増減率)
売上高	117,879	120,906	3,027 2.6 (%)
営業利益	17,050	18,520	1,469 8.6 (%)
経常利益	17,914	19,702	1,787 10.0 (%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,504	14,593	88 0.6 (%)

医療用漢方製剤全体の売上高は、薬価改定による影響を受けながらも、前連結会計年度に比べ2.7%伸長しました。漢方医学に対する医療関係者のニーズは益々多様化しており、医師への面談、医療機関説明会、漢方医学セミナーを基本とし、基礎・臨床エビデンス、漢方製剤掲載の診療ガイドラインおよび漢方医学的な処方を使い分け等に関する適切な情報提供活動を実施しております。

引き続き、漢方医学および漢方製剤に関する情報提供の拡充を図り、「高齢者関連領域」「がん領域(支持療法)」「女性関連領域」の重点3領域を中心に、潜在市場の大きい漢方市場の拡大を進めてまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は以下のとおりであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、財政状態の概況については、遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

総資産は、1年内返済予定の長期借入金の返済による現預金の減少等により、前連結会計年度末に比べて5,056百万円減少し、287,322百万円となりました。

負債は、1年内返済予定の長期借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べて14,665百万円減少し、81,181百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて9,608百万円増加し、206,141百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は4.0ポイント増加して、70.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,450百万円の収入となりました。前連結会計年度との比較では、前渡金の増減額の減少及びたな卸資産の増減額の減少等により15,615百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,697百万円の支出となりました。前連結会計年度との比較では、定期預金の増減額の増加ならびに有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入の増加等により15,656百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、18,528百万円の支出となりました。前連結会計年度との比較では、社債発行による収入の減少及び株式発行による収入の減少等により68,833百万円収入が減少しております。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて22,069百万円減少し、56,243百万円となりました。

(4) 今後の見通し

2020年3月期の業績予想につきましては、売上高は医療用漢方製剤の伸長傾向をふまえ125,000百万円(3.4%増)を見込んでおります。利益につきましては、営業利益17,000百万円(8.2%減)、経常利益18,000百万円(8.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益12,300百万円(15.7%減)を見込んでおります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2020年3月期 (増減率)	125,000 (3.4%)	17,000 (△8.2%)	18,000 (△8.6%)	12,300 (△15.7%)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	83,520	72,240
受取手形及び売掛金	42,906	44,524
有価証券	3,500	—
商品及び製品	8,008	9,382
仕掛品	12,797	11,125
原材料及び貯蔵品	29,188	31,299
前渡金	6,710	16,514
その他	4,261	4,945
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	190,888	190,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,778	64,800
機械装置及び運搬具	50,559	50,214
工具、器具及び備品	10,502	10,815
土地	9,052	9,052
建設仮勘定	11,879	15,199
その他	334	392
減価償却累計額	△75,776	△76,769
有形固定資産合計	71,329	73,703
無形固定資産		
526		872
投資その他の資産		
投資有価証券	14,179	15,642
退職給付に係る資産	1,908	1,934
繰延税金資産	227	366
その他	13,319	4,777
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	29,634	22,719
固定資産合計	101,491	97,295
資産合計	292,379	287,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,507	6,267
短期借入金	10,314	10,314
1年内返済予定の長期借入金	15,000	—
未払金	7,823	8,032
未払法人税等	3,538	2,101
返品調整引当金	10	10
その他	6,573	6,594
流動負債合計	48,766	33,320
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	9,376	9,376
繰延税金負債	889	1,905
再評価に係る繰延税金負債	1,179	1,179
退職給付に係る負債	88	74
その他	5,547	5,324
固定負債合計	47,080	47,861
負債合計	95,846	81,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	14,027	14,027
利益剰余金	140,040	149,740
自己株式	△814	△815
株主資本合計	183,396	193,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,748	5,697
繰延ヘッジ損益	323	740
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	2,301	△313
退職給付に係る調整累計額	157	△76
その他の包括利益累計額合計	10,203	8,721
非支配株主持分	2,933	4,324
純資産合計	196,533	206,141
負債純資産合計	292,379	287,322



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	117,879	120,906
売上原価	49,603	49,451
売上総利益	68,275	71,455
販売費及び一般管理費	51,224	52,935
営業利益	17,050	18,520
営業外収益		
受取利息	166	507
受取配当金	382	235
持分法による投資利益	324	112
為替差益	—	164
その他	498	400
営業外収益合計	1,371	1,420
営業外費用		
支払利息	190	162
社債発行費	143	—
株式交付費	108	—
為替差損	25	—
その他	39	76
営業外費用合計	507	238
経常利益	17,914	19,702
特別利益		
固定資産売却益	10	1
投資有価証券売却益	1,498	324
補助金収入	1,000	—
特別利益合計	2,509	325
特別損失		
固定資産売却損	13	0
固定資産除却損	60	130
環境対策費	66	—
特別損失合計	140	130
税金等調整前当期純利益	20,284	19,897
法人税、住民税及び事業税	5,440	4,670
法人税等調整額	49	393
法人税等合計	5,489	5,064
当期純利益	14,794	14,833
非支配株主に帰属する当期純利益	289	239
親会社株主に帰属する当期純利益	14,504	14,593

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	14,794	14,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	902	949
繰延ヘッジ損益	△601	417
為替換算調整勘定	902	△2,826
退職給付に係る調整額	260	△234
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△48
その他の包括利益合計	1,477	△1,742
包括利益	16,271	13,090
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	15,896	13,111
非支配株主に係る包括利益	374	△20

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,487	1,940	129,937	△5,393	145,972
当期変動額					
新株の発行	10,654	10,654			21,309
剰余金の配当			△4,402		△4,402
親会社株主に帰属する当期純利益			14,504		14,504
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		1,432		4,580	6,012
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	10,654	12,087	10,102	4,579	37,423
当期末残高	30,142	14,027	140,040	△814	183,396

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,845	925	2,673	1,470	△102	8,811	2,613	157,397
当期変動額								
新株の発行								21,309
剰余金の配当								△4,402
親会社株主に帰属する当期純利益								14,504
自己株式の取得								△1
自己株式の処分								6,012
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	902	△601	—	830	260	1,392	319	1,712
当期変動額合計	902	△601	—	830	260	1,392	319	39,135
当期末残高	4,748	323	2,673	2,301	157	10,203	2,933	196,533

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,142	14,027	140,040	△814	183,396
当期変動額					
剰余金の配当			△4,893		△4,893
親会社株主に帰属する当期純利益			14,593		14,593
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	9,700	△0	9,699
当期末残高	30,142	14,027	149,740	△815	193,095

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	4,748	323	2,673	2,301	157	10,203	2,933	196,533
当期変動額								
剰余金の配当								△4,893
親会社株主に帰属する当期純利益								14,593
自己株式の取得								△0
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減							1,468	1,468
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	949	417	—	△2,614	△234	△1,482	△77	△1,559
当期変動額合計	949	417	—	△2,614	△234	△1,482	1,391	9,608
当期末残高	5,697	740	2,673	△313	△76	8,721	4,324	206,141

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	20,284	19,897
減価償却費	6,157	6,362
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△548	△742
支払利息	190	162
社債発行費	143	—
株式交付費	108	—
持分法による投資損益 (△は益)	△324	△112
有形固定資産除売却損益 (△は益)	74	127
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,529	△1,676
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,566	△2,651
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,304	915
前渡金の増減額 (△は増加)	△79	△9,808
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,498	△324
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△422	△385
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△47	8
その他	1,794	△847
小計	24,565	10,926
利息及び配当金の受取額	537	696
利息の支払額	△161	△163
法人税等の支払額	△3,875	△6,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,066	5,450
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△15,186	△1,136
有形固定資産の取得による支出	△10,463	△8,514
有形固定資産の売却による収入	19	3
無形固定資産の取得による支出	△318	△427
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△13,510	△20,822
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	16,154	24,512
子会社出資金の取得による支出	—	△952
関係会社出資金の払込による支出	—	△239
貸付けによる支出	△4	△3
貸付金の回収による収入	4	3
その他	△49	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,354	△7,697
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△2,267	—
長期借入金の返済による支出	—	△15,000
社債の発行による収入	29,856	—
株式の発行による収入	21,201	—
自己株式の売却による収入	6,012	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	1,468
配当金の支払額	△4,404	△4,893
非支配株主への配当金の支払額	△49	△54
その他	△45	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,305	△18,528
現金及び現金同等物に係る換算差額	394	△1,294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	48,412	△22,069
現金及び現金同等物の期首残高	29,901	78,313
現金及び現金同等物の期末残高	78,313	56,243

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当連結会計年度において、平安津村有限公司は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,532.11円	2,639.59円
1株当たり当期純利益金額	200.55円	190.87円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。

2 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	196,533	206,141
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,933	4,324
(うち非支配株主持分(百万円))	(2,933)	(4,324)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	193,599	201,816
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	76,457	76,457

(2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	14,504	14,593
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	14,504	14,593
普通株式の期中平均株式数(千株)	72,324	76,457

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が1,512百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が190百万円増加しております。また、「固定負債」の「繰延税金負債」が1,321百万円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が1,321百万円減少しております。